

2023年10月30日 エネルギーシンポジウム  
「エネルギー安全保障～石油危機から50  
年が経過した今だからこそ改めて」

# エネルギー安保、日本の立ち位置

日本経済新聞社  
上級論説委員兼編集委員  
松尾博文

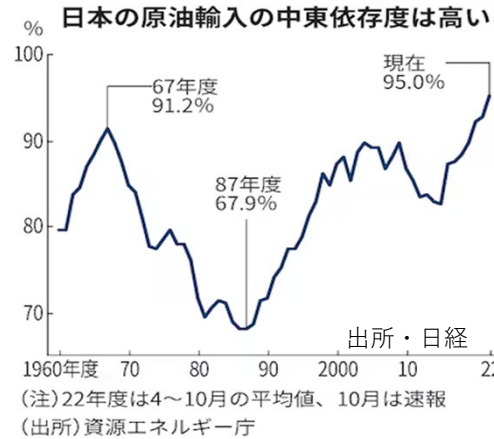
# 1973年と2023年の比較

- 1973年10月 第4次中東戦争→アラブ産油国が石油戦略発動  
2022-23年 ロシアのウクライナ侵攻→ロシアがエネルギーを武器化
- 73年と23年に共通するのは、**
  - ・「地政学リスク」が「エネルギー危機」に発展
  - ・エネルギー安全保障と安定・安価な供給の重要性を再認識
  - ・強まるエネルギー転換への圧力
- 73年と23年の違いは、**
  - ・問われる脱炭素との両立
  - ・地政学における中国の存在感
  - ・エネルギー消費におけるグローバルサウスの存在感

# エネルギー転換の加速と失速

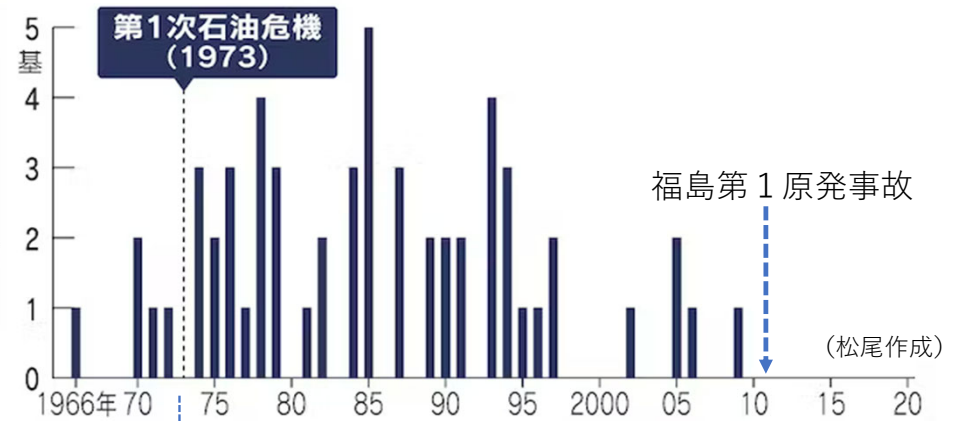
## エネルギー転換に踏み出した

- 脱中東～ロシア産原油  
中東との関係強化
- 脱石油～LNG、原発、  
サンシャイン計画
- 省エネルギー
- 緊急時対応～国家・民間備蓄



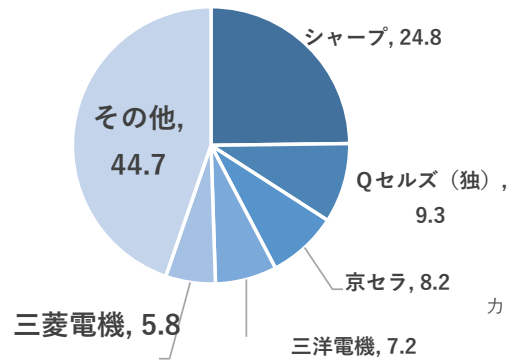
## 20年で40基の原発が稼働した

日本の原発の稼働年(商用炉のみ)



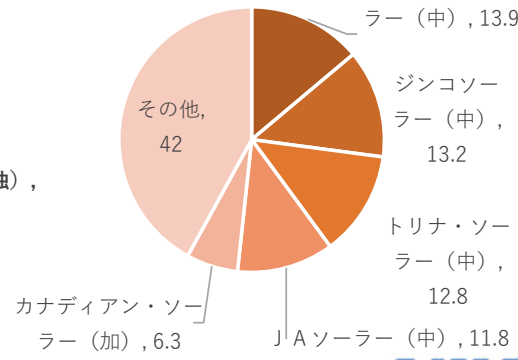
## 日本製太陽光パネルが市場を席巻した (%)

2005年



出所・PVニュース

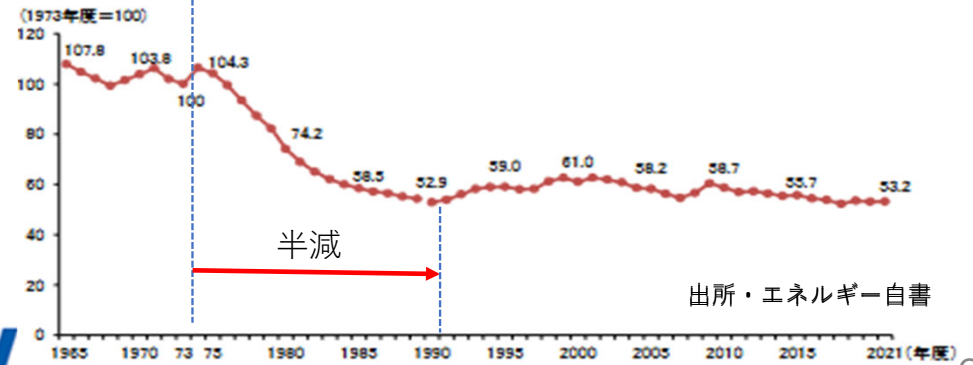
2022年



出所・資源総合システム

NIKKEI

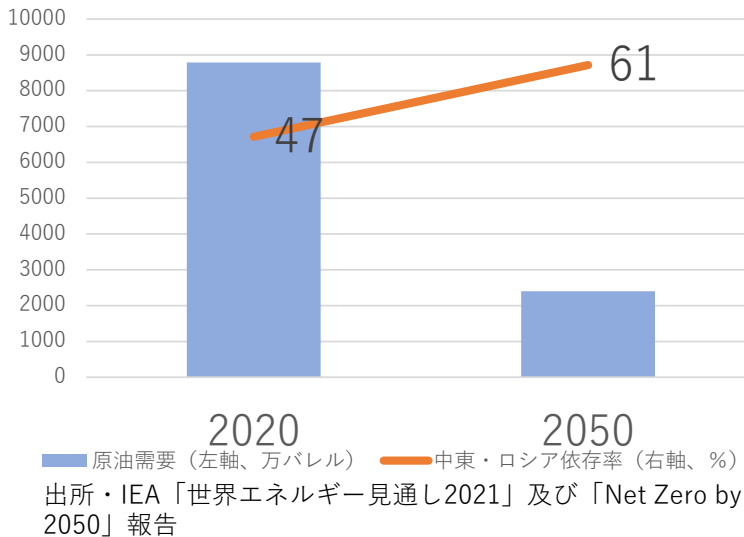
## 製造業の消費原単位は1990年までに半減した



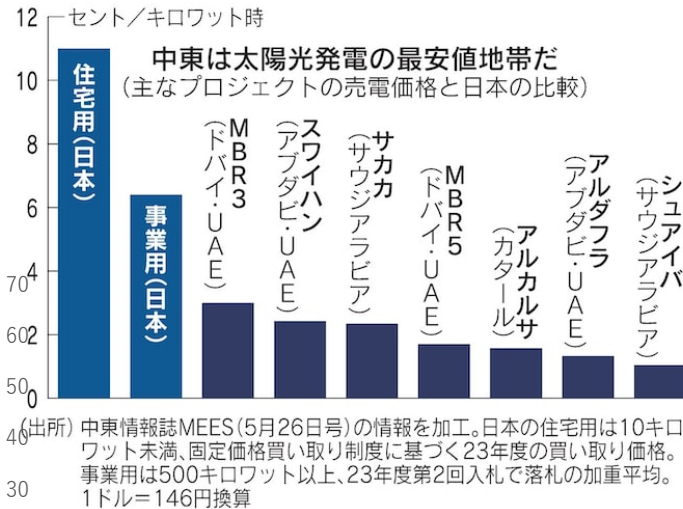
# 中東と縁を切れるのか

- 石油需要は急にゼロにはならない
- 移行期の供給を誰が担うのか

中東・ロシアへの依存度は上昇する



世界のエネルギー供給にとって  
中東安定の重要性変わらず



アブダビ・スワイハン太陽光発電所 (松尾撮影)

NIKKEI

- カーボンゼロに水素は不可欠
- 誰が供給できるのか

日本は2050年に世界最大の水素純輸入国に



出所・2023年10月11日付日経

中東との関係希薄化のリスク  
→ 中東人脈の先細り

# ガザ情勢が突きつけるのは

## ➤ ハマスはなぜ第4次中東戦争50年の節目に攻撃したのか。

→パレスチナ問題の解決なくして中東の安定なし、の再確認

## ➤ なぜイスラエルは攻撃をつかめなかったのか。

→アラブ諸国の“パレスチナ疲れ”

→民衆とのずれ、読み誤ったイスラエル

## ➤ エネルギー危機は再来するか。

→かぎ握るイランとペルシャ湾

## ➤ 衝突をどう収束させるのか？

→誰が“チャンネル”になれるのか。



パレスチナ・ガザ地区(2003年)



パレスチナ・ヨルダン川西岸  
(2023年8月)

# 脱炭素時代の大競争

- 技術で先行し、市場で優位に立つ国家と企業の大競争
- 資源・鉱物・素材を確保するための経済安全保障
- 水素時代の3つのつくる
  - 〃仲間〃をつくる
    - 日本と同じ課題を抱えるアジアとの連携
  - 〃市場〃をつくる
    - 資源国、消費国と連携した流通市場の育成
  - 〃ルール〃をつくる
    - 国際市場で不利にならないルール作りの主導
- 要素技術と社会実装をつなぐ、切れ目ないイノベーション
  - 「研究室」と「市場」の谷を克服する知恵